

令和5年度 第2回地域学校協働本部運営委員会 議事録

開催日時：令和6年2月9日(金) 10時～11時15分

開催場所：我孫子市教育委員会 大会議室

出席者：地域学校協働本部運営委員7名 欠席委員1名
事務局4名

傍聴者：なし

1 指導課長挨拶

本日はご多用の中、ご出席いただきありがとうございます。

今年度は昨年度に比べて学校と地域が連携して行った活動が増えてきた様に感じます。地域学校協働活動推進員を中心に子ども達の学びのためにそれぞれの立場から動いてくださっているのだと思います。本日は今年度の振り返りをするとともに来年度につなげていける協議になればと思いますのでどうぞよろしくお願いします。

2 令和5年度の活動報告・評価と振り返り

コロナ禍により令和2年度より減少していた学校支援ボランティアが増加傾向に転じ、今年度は昨年度の実績を上回りました。昨年度活動が停滞した学校が今年度は実績数を伸ばしている点がとくに喜ばしく思います。ただ学校別にみるとまだまだ実数に差がありますのでこの差を埋めるべく来年度、支援をしていきたいと思っております。活動内容については「登下校時の安全指導」が大変に増えてきていることがわかります。たくさんの地域の方達が子ども達を見守っていることが我孫子市では当たり前に行われるようになりました。続いて環境整備です。これは「校内の清掃」が大半を占めているようですが教職員の働き方改革にも寄与しております。

「授業準備・補助」については、授業における子ども達の支援の実績数として昨年度を下回っていますがたくさんの方々から支援してもらっています。このことは子どもたちの豊かな学びにつながっています。さらに授業以外では、読み聞かせや図書館ボランティア、総合学習の講師は昨年度よりも増加しています。また部活動の地域移行への動きを反映して、部活動・クラブ活動への補助が倍増しました。

逆に学校行事への支援は大きく減少しています。その要因はわからないのですが、コロナ後の学校行事の精選・縮小が影響していると思われます。また郷土芸能や地域行事への参加も大きく減少しています。これは学校による差異も大きく、今後の検討課題かと思っております。地域学校協働活動推進員については、ボランティアとの連絡調整やHPの更新・連絡メールの配信など昨年度以上に活動していただいたことがボランティア参加実績の伸びに繋がったようです。また推進員の人数を増やした学校がよりボランティア参加人数が増加したように思います。

学生ボランティアの活動状況ですが、昨年度はコロナ禍による減少からようやく増加傾向に転じましたが、今年度は伸び悩んでいます。これは学生数、特に教職員を志す学生の減少がひとつの要因だと考えられます。逆に連携協定を結んでいる市内の学校だけでなく様々な大学の学生から問い合わせがあり、教育委員会を通して要望にあった小中学校に派遣しました。市内の高校生ボランティアは増加し、中学生がおなじ中学校区の小学生の学習支援を行うといった取り組みを行う学校も増えました。

活動計画の共有と見直しについて、それまで学校が単独で作成していたマネジメントシートや年間計画を推進員と協議し共有できるように働きかけました。現実的にじっくりと協議する時間をとるのが困難な状況もあり、来年度に向けては先月開催した学校担当者推進員研修会の中で協議、作成する時間を設けました。学校運営協議会委員との共有も望まれることから、協議会の持ち方について再確認をしているところです。

小中一貫教育と地域学校協働活動の一体的推進については、地域学校協働活動をカリキュラムに位置付け、さらに中学校区ごとで小中を一貫させたカリキュラムの可能性を探ることを目指しました。中学校区で活動するために、携帯アプリ等を利用した情報共有やボランティアの共有をすすめている学校が増えてきています。

ネットワークの構築と推進については行政や社会教育団体・施設等との連携を推進することを目指しました。

また、本運営委員会の見直しということで、1月の教育委員会議で我孫子市地域学校協働活動推進事業要綱の改定が承認され、来年度より学校運営協議会の代表者と市民協働推進課もメンバーに加わることを報告いたします。

4 令和6年度の活動方針と重点について

活動実績のさらなる底上げが図れるよう、状況が厳しい中学校区への支援を強めたり、地域の教育資源、関係機関とつなげるような支援をしていきたいと思います。そのため市民協働推進課との連携も深めていきたいと考えています。

先ごろ、文科省からも放課後児童対策パッケージという文書が出され、放課後子ども教室の学校施設の活用についてや、学校運営協議会を活用した連携等について積極的に推進するように提言がなされました。子どもを真ん中に置いた地域学校協働本部のネットワーク化を図るうえで、今後重要になってくる案件であると思います。そういった意味からも子ども支援課との連携の在り方は今後重要な命題になってくると考えています。地域学校協働活動による豊かな学びや体験活動を取り入れた総合学習の時間を充実させることが、中学校区独自の小中一貫カリキュラムの開発に繋がります。そのためにも学校運営協議会を熟議の場とし地域学校協働活動との一体的推進を図ることが必要です。学校運営協議会で、カリキュラム、教育課程、学校課題、地域との連携、教育ミニ集会の企画等について熟議していただきたいです。学校と地域が目標を共有するのは実は簡単なことではありません

せん。このことを実現させるには学校運営協議会の委員のみなさん、地域学校協働活動の推進員のみなさんには日常の授業や活動の様子、子供たちをみてもらい学校教育目標やビジョンがどのような形で教育活動に反映している、また反映させようとしているのかを自らの目でみて、体感してもらうことが必要です。

このようにもっと学校の教育活動に積極的かつ気軽にかかわれるように各学校で工夫し実行していけるよう後押しをしていきたいと思えます。

もう一步話を進めてコミュニティスクールの先にあるこれからの学校の姿です。学校は誰のものでしょうか。学校関係者であれば「子ども達のもの」であり「子どもたちを教育する場」と答えると思えます。ただこれからの学校の姿はコモンズつまりコミュニティーに属する者の共有の場ということが言われています。その一環としてすでに地域ルームやコミュニティールームを設置している学校もあります。大人も学べる学校になることによってスクールパートナーズ（ボランティア）を増やし、育てることによって、地域の子どものためにさらなる高みを目指す一歩となるよう努力していきたいと思えます。

【協 議】

・令和6年度に向けての説明の中で地域ルームを創設とありました。具体的に地域ルームを作るためにはどのようにしていけばよいでしょうか。（委員）

・地域ルームについては布佐中區で実績があるので、地域学校協働活動推進員代表の委員さんから話をお願いします。（事務局）

・布佐中では余裕教室がたくさんあり、地域ルームを作るのに都合がよかった点があります。学校支援地域本部を立ち上げる際、ボランティア活動の拠点として8年程前に地域ルームが開設されました。そこでは地域の人たちが集う中、囲碁、折り紙、将棋などのサークル活動を通して生徒たちとの交流を深めていくことができました。地域ルームを作る際には地域と学校の思いが合致して実現したように思います。（委員）

・私たちの地域では、学校との間に温度差があるように思います。どのように話していけば理解してもらえるのか、また地域ルームの創設に関して以前から話があったのかお聞きしたいです。（委員）

・学校運営協議会の事業ではありますが、学校職員でなくても使えるパソコンやプリンターを各校1台設置しています。その設置場所をきっかけとして学校内に地域の方の居場所をつくっていく方法もあります。また学校運営協議会で取り上げてみてはどうでしょうか。（事務局）

・学校運営協議会で提案してみます。（委員）

・学校と社協との連携についてお話しをお願いします。（司会）

・我孫子市内の小中学校で福祉教育として高齢者疑似体験をしています。今年は、初めて学校に推進員を通して保護者ボランティアを募り、装具等を付けるお手伝いをお願いします。今後も同様にボランティアを募っていきたいです。（委員）

・文科省から昨年末に出された放課後児童対策パッケージの中で「コミュニティ・スクールの仕組みを活用した放課後児童対策の推進」とあります。なにか進めていることはありますか？(事務局)

・具体的に始めていることはないのですが、あびっ子の退室時、また学童から習い事に向かう道中の「見守りボランティア」の必要性を感じています。また夏季休暇など利用者が増加するときには教室を借りたいと考えています。学校運営協議会でそういった話ができるのであれば会議に参加してみたいです。(委員)

・布佐では「布佐こども学習教室」を立ち上げており、あびっ子の中にも教室があります。3、4年位前から始めて、スタッフの中には元学童やあびっ子のスタッフもいます。あびっ子だけでなく学童に来ている児童で希望があれば参加できるようになっています。(委員)

・湖北台中区でも学習教室を始めたいが布佐ではスタッフはどのようにして見つけていきましたか？(委員)

・自身の人脈、まち協などいろいろなイベントに参加して人を集めました。広くアンテナを張るといいです。(委員)

・学校の立場としてなにかご意見はありますか。(司会)

・お話を聞いて布佐中区の先進的な取り組みがよくわかりました。

白山中区では主に総合学習のカリキュラムで繋げていく、その中で地域の方々と連携できることを取り組んでいきたいです。(委員)

・生涯学習の観点からお話をお願いします。(司会)

・生涯学習部では余裕教室を利用しての地域交流教室を地域の方々に利用してもらっています。先ほどの令和5年度の報告の中で地域行事へのボランティアが少なくなったと聞いて残念に思いますが、見守りなどを通じた活動の広がりが今後大切になってくると思います。。布佐中区は地域性もありますが、活動が活発でいいなと思います。(委員)

ご意見ありがとうございました。事務局に司会をもどします。

来年度の第1回運営委員会は、4月19日(金)10時～で調整しております。

以上をもちまして令和5年度第2回我孫子市地域学校協働本部運営委員会を終ります。